

## 6月会長定例記者会見

### Q. 改正放送法の成立について

A. (上田会長) NHKのテレビ放送のインターネットへの常時同時配信を認めることなどを盛り込んだ改正放送法が、5月29日に国会で可決・成立しました。放送を太い幹としつつ、インターネットを適切に活用して、常時同時配信と見逃し配信サービスを実施することで、視聴者の皆さまが、テレビやラジオ、それにスマートフォンやタブレットなどの携帯端末を利用して、それぞれのライフスタイルに合わせて、「いつでも、どこでも」必要な情報やコンテンツが得られるようにしてまいります。

今後は、国会での審議や附帯決議などでいただいたご意見やご指摘を真摯に受け止め、常時同時配信の実施に向けた準備を本格的に進めていきます。常時同時配信の実施に向けてはまず、NHKのインターネット実施基準を新たに策定し、総務大臣の認可を得ることが必要となります。今後、総務省から示される予定となっているインターネット実施基準の審査ガイドラインを踏まえ、取りまとめの作業を進めます。また、関連する様々なシステムの整備や、受信料制度との整合性を図るために必要な個々の利用者の認証方法の決定、それに著作権処理をめぐる関係団体との協議など必要な準備を急いでまいります。

さらに、視聴者・国民の皆さまに常時同時配信と見逃し配信という新たなサービスや公共メディアとしての取り組みについて十分ご理解をいただき、積極的に利用していただけるよう様々な周知活動にも取り組んでいきます。

これまで放送において培ってきた民放との二元体制のもと、放送と通信の融合時代においても、国民の知る権利に応え、健全な民主主義の発達や文化水準の向上に寄与していくため、視聴者の皆さまに信頼される「情報の社会的基盤」の役割を引き続きしっかりと果たし、NHKが追求する公共的価値の実現に努めてまいります。

### Q. 東京オリンピック・パラリンピック 1年前関連について

A. (会長) 東京オリンピック・パラリンピックの開催までまもなく1年となり、NHKでは放送やイベントを通じて、大会の魅力をお伝えしていくことにしています。

その一つ、NHK東京2020オリンピック・パラリンピック放送スペシャルナビゲーターには、嵐の5人に就任していただくことが決まりました。

嵐の皆さんには、オリンピック開会式1年前となる7月24日と、パラリンピ

ック1年前を特集する8月28日に放送する特集番組「2020スタジアム」でメインパーソナリティーを務めてもらい、競技の魅力や大会に向けた最新情報などを視聴者の皆さまに届けていただきます。

また、7月20日から24日まで渋谷のヒカリエで、総合スポーツイベント「Nスポ!2019」を開催します。今年5回目を迎えるこのイベントでは、米津玄師さんが作詞・作曲・プロデュースした<NHK>2020応援ソング「パブリカ」を歌う子供たち5人のユニット「F o o r i n」のステージや、大河ドラマ「いだてん」で、中心になって日本にオリンピックを招致した田畑政治を演じる阿部サダヲさんによるトークショーのほか、パラリンピックの応援番組「パラマニア」や、科学を通してスポーツを考える「スイエンサー」の公開収録などを行います。

さらに、8Kスーパーハイビジョンのパブリックビューイングや、トップレベルのアスリートによるパフォーマンス、パラリンピック競技体験、アニメでパラスポーツの魅力を発信する「アニメ×パラ」の特別展示など、スポーツを様々な角度から楽しめます。

(詳細は報道資料参照)

Q. 7月のBS8K番組について

A. (会長) BS4K、BS8K放送がはじまってから半年が経ちました。世界的にも4K・8K放送の時代へと移行する流れが始まったと感じています。今年4月にフランスで開催された世界最大規模のコンテンツ見本市では、4K制作に加えて、初めて、8Kで制作された番組のセッションが設けられ、日本だけでなくアメリカやフランスなどで制作された8K番組が上映されるなど、世界で4K・8K制作の取り組みが一段と進んでいます。

7月のNHK BS8Kは、アポロ11号の月面着陸からちょうど50年でもあり、宇宙をテーマにした番組を集中的に編成します。7日の七夕には「宇宙への旅」を体感できる特集番組をBS8Kで生放送します。実際の太陽や月、火星の姿を超高精細映像で、まるで宇宙を旅しているような感覚でご紹介します。

また、アポロ11号が着陸した20日には特集番組を放送します。着陸に成功した宇宙飛行士は、月面やそこでの活動のようすを当時の最高レベルの画質で写真撮影していました。番組では、着陸に失敗したアポロ13号を除く11号から17号が撮影した月面の超高精細画像を元に、宇宙飛行士の感動秘話や月の神秘に迫ります。

8月には日本の夏祭り、9月にはラグビーワールドカップ2019をBS4K、BS8Kでもお届けします。そして来年2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、放送の新しい価値を視聴者の皆さまにしっかりとお届けしていきます。

(詳細は報道資料参照)

Q. 国際放送番組における出演者問題の再発防止について

A. (会長) 去年11月19日に放送した国際放送のドキュメンタリー番組「Inside Lens」の出演者について、事実と異なる内容を伝えていたことがNHKの調査でわかりました。極めて遺憾なことであり、視聴者の皆さまにおわびいたします。この問題を受け、再発防止策をとりまとめ、早急を実施することとしました。

(編成局計画管理部長) 再発防止策として、3つのポイントをあげています。

1点目は特定のケースにおける事実確認の強化です。今回の番組のように、企業や団体からサービスの利用者を紹介されるなど、利害関係のある第三者から取材対象者の紹介を受けるような場合は、取材・制作時の事実確認をさらに強化します。

2点目は外部制作・放送権購入番組における契約時のルール of 徹底です。外部プロダクションやフリーディレクターと交わす契約書に、NHK放送ガイドラインの遵守などについて、より具体的に明記します。

3点目は再発防止策の周知・徹底で、今月以降開催される勉強会や研修から、随時説明を実施していく予定です。

(詳細は報道資料参照)

(以上)